

第3章

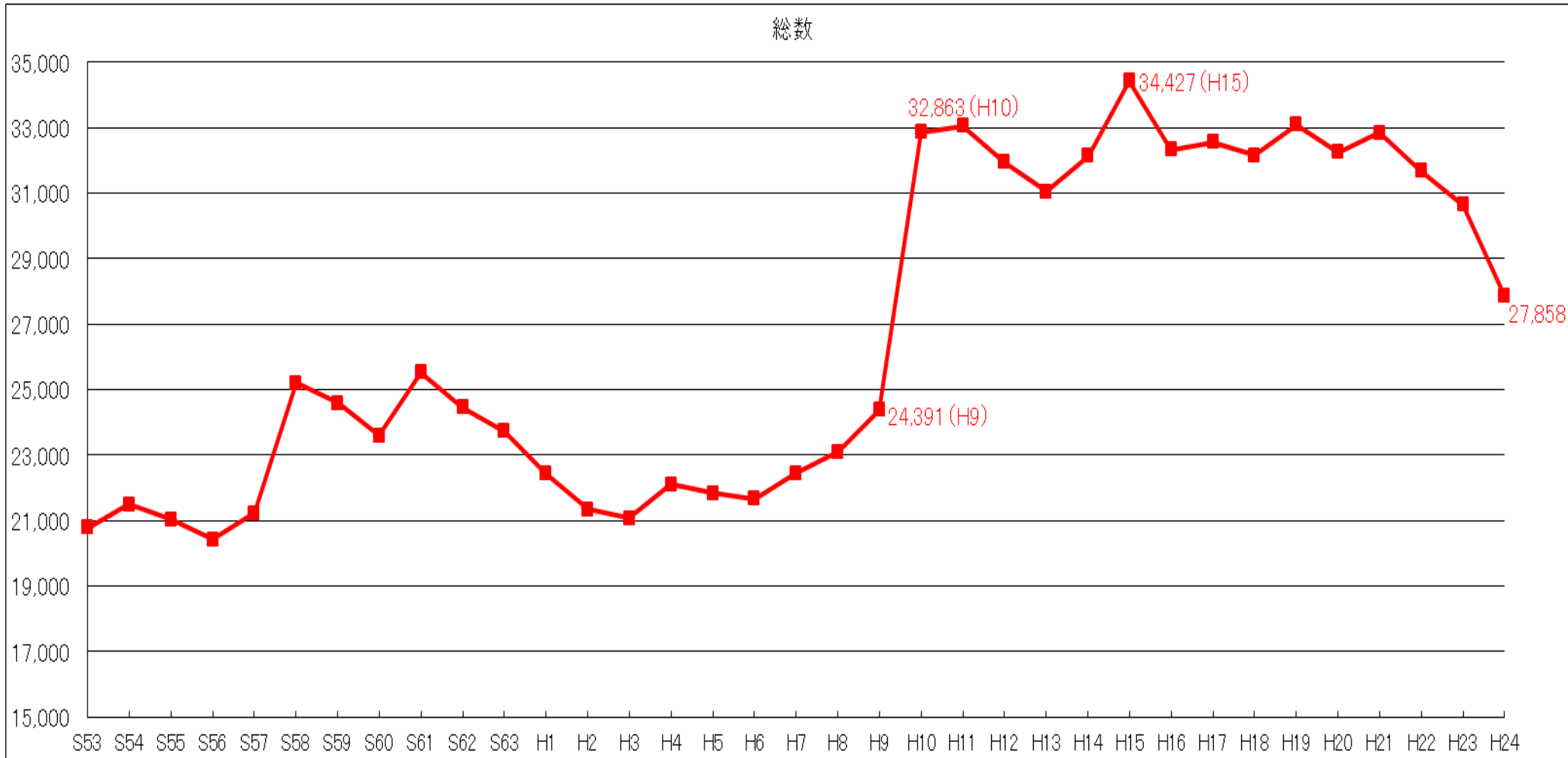
平成24年中における自殺の分析

自殺者数の年次推移

○平成24年の自殺者数(27,858人)は、対前年比2,793人(約9.1%)減。

○平成10年以来、連続して3万人を超える状況が続いていたが、**15年ぶりに3万人を下回った。**

(単位:人)



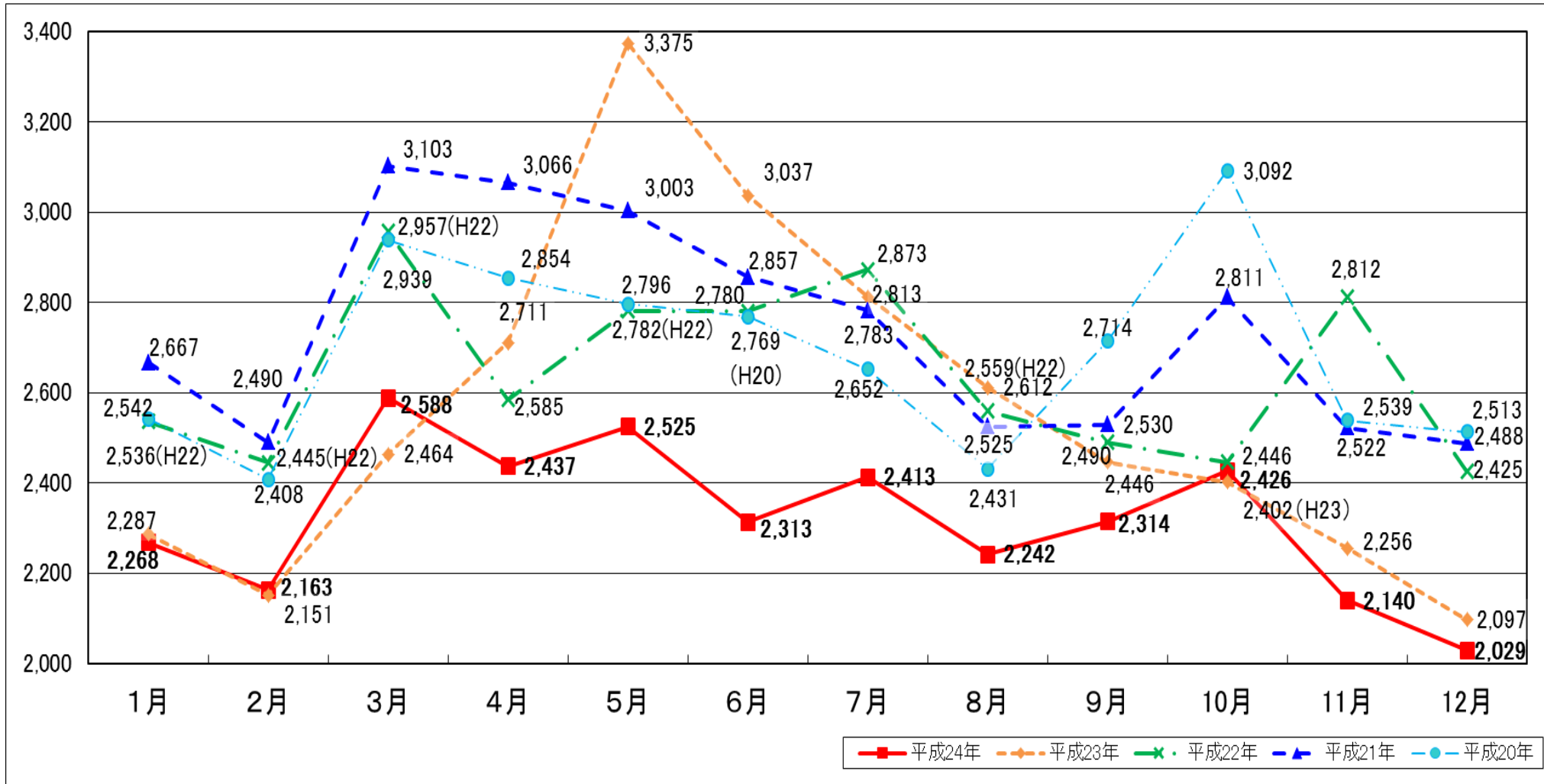
資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データより内閣府作成)

月別自殺者数の推移

○3月が最も多く、12月が最も少ない。

○前年と比べて2月、3月、10月を除き下回り、前々年と比べると全ての月で下回った。

(単位:人)

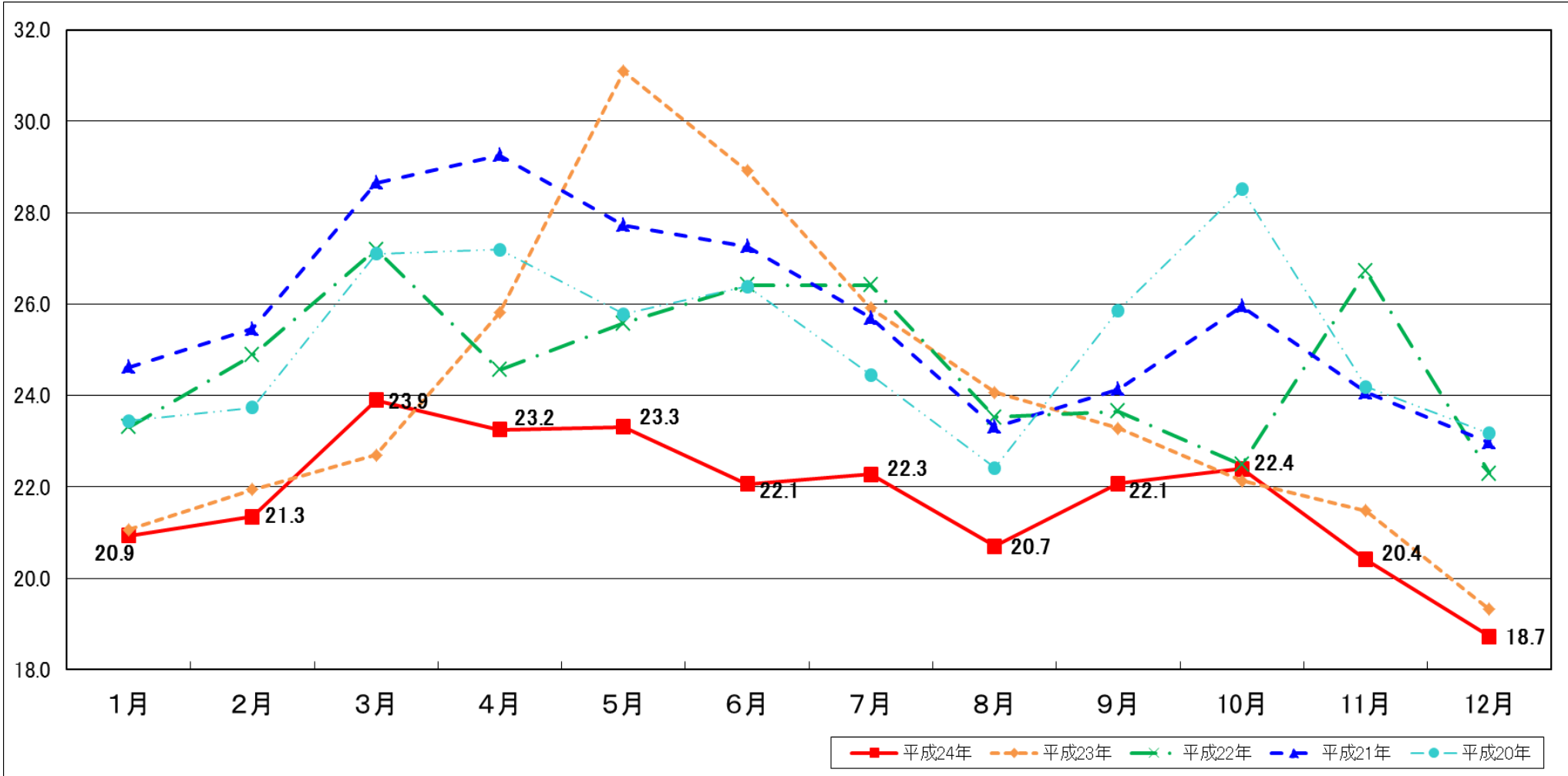


資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データより内閣府作成)

月別自殺死亡率(年率換算)の推移

○3～5月及び10月に山が見られている。

○推移パターンは、20～21年時点の数値と似ている。

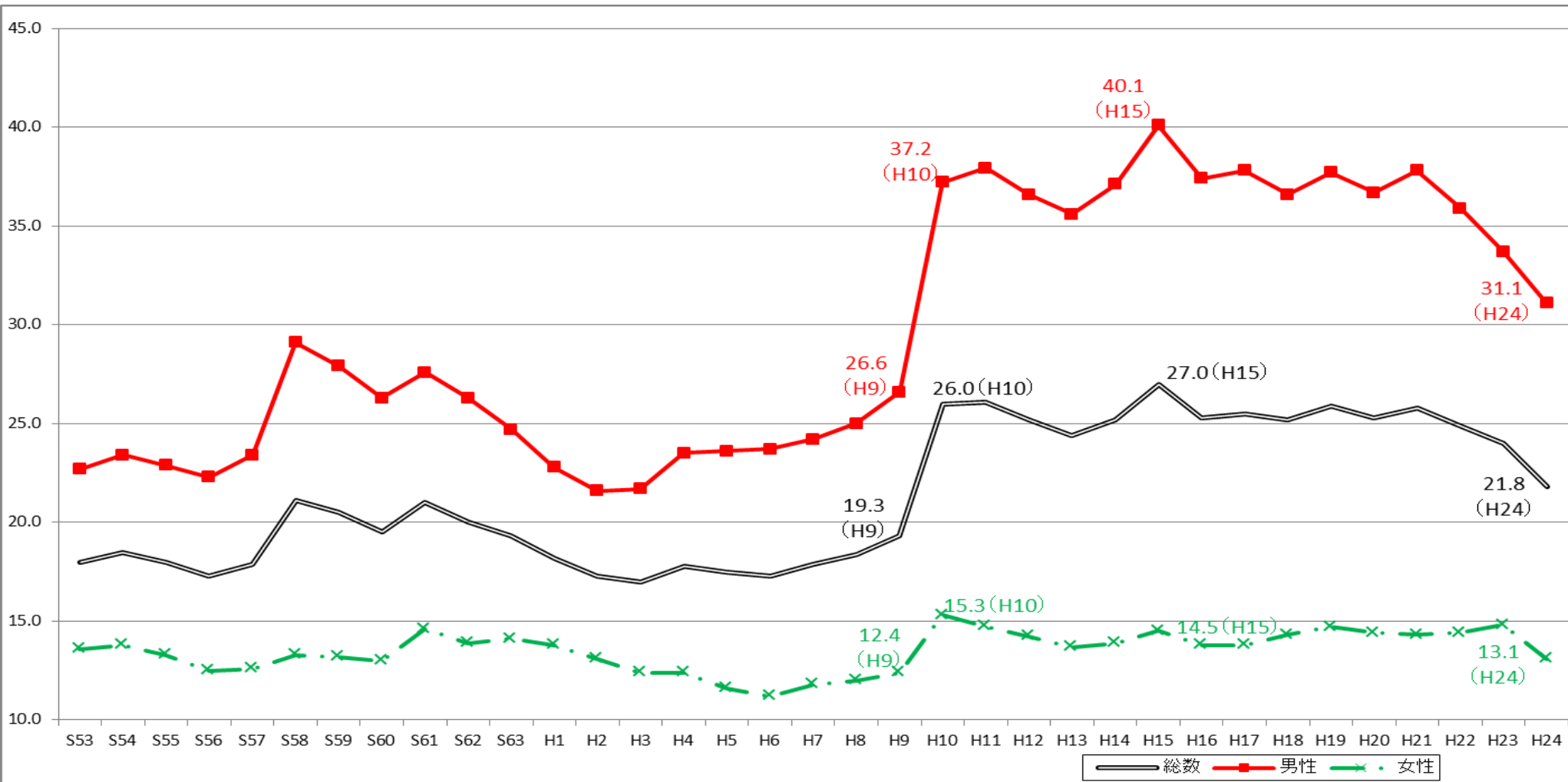


資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データ)、総務省「人口推計」及び「平成22年国勢調査」より内閣府作成

総数及び男女別自殺死亡率の年次推移

○男性は、女性の約2.5倍となっている。

○男性は3年連続減少し、女性は減少に転じた。

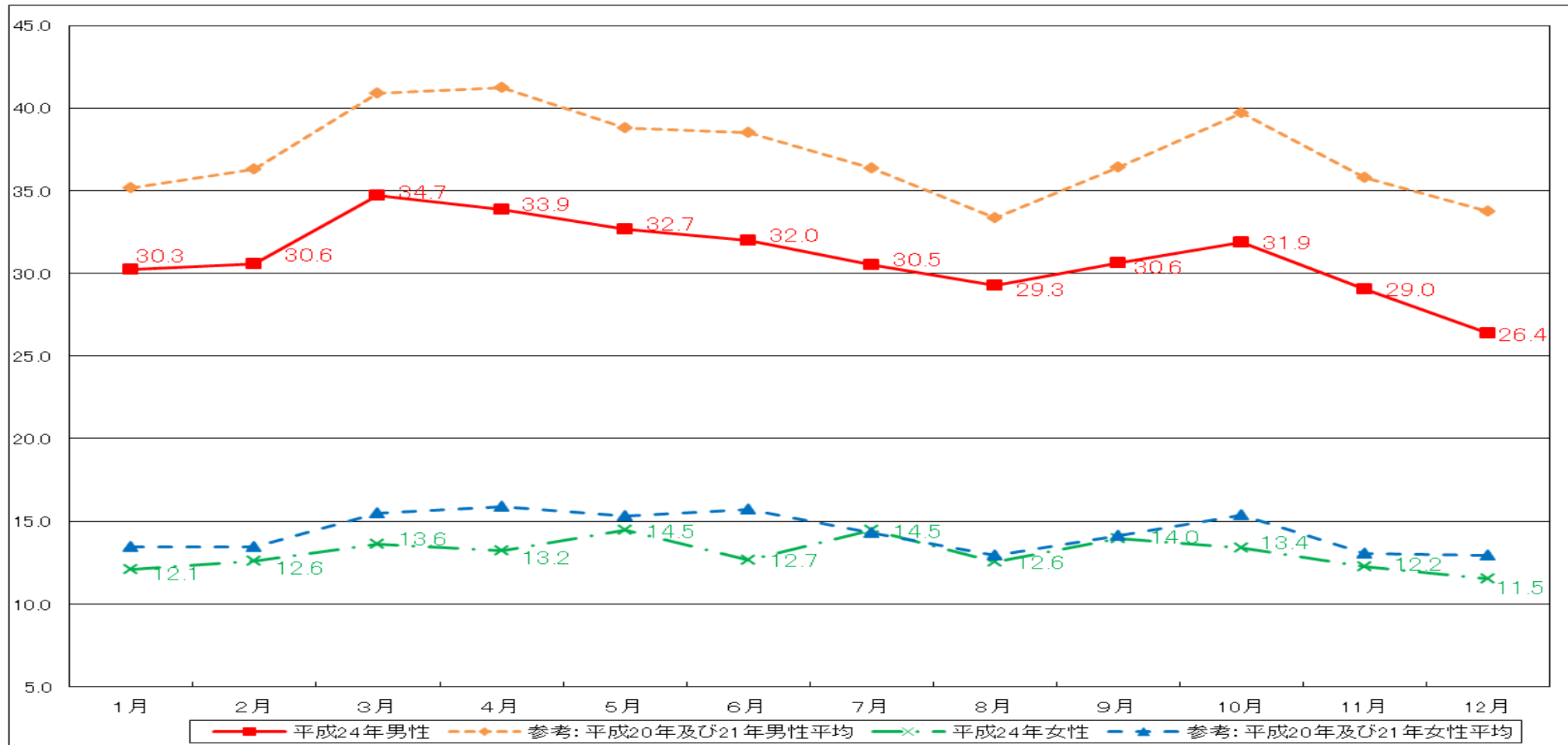


資料：内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データ及び総務省「人口推計」より内閣府作成)

平成24年における男女別月別自殺死亡率 (年率換算)の推移

○男性は3月と10月に山が見られる。

○女性は、5月及び7月が高いものの、他月との大差は見られない。

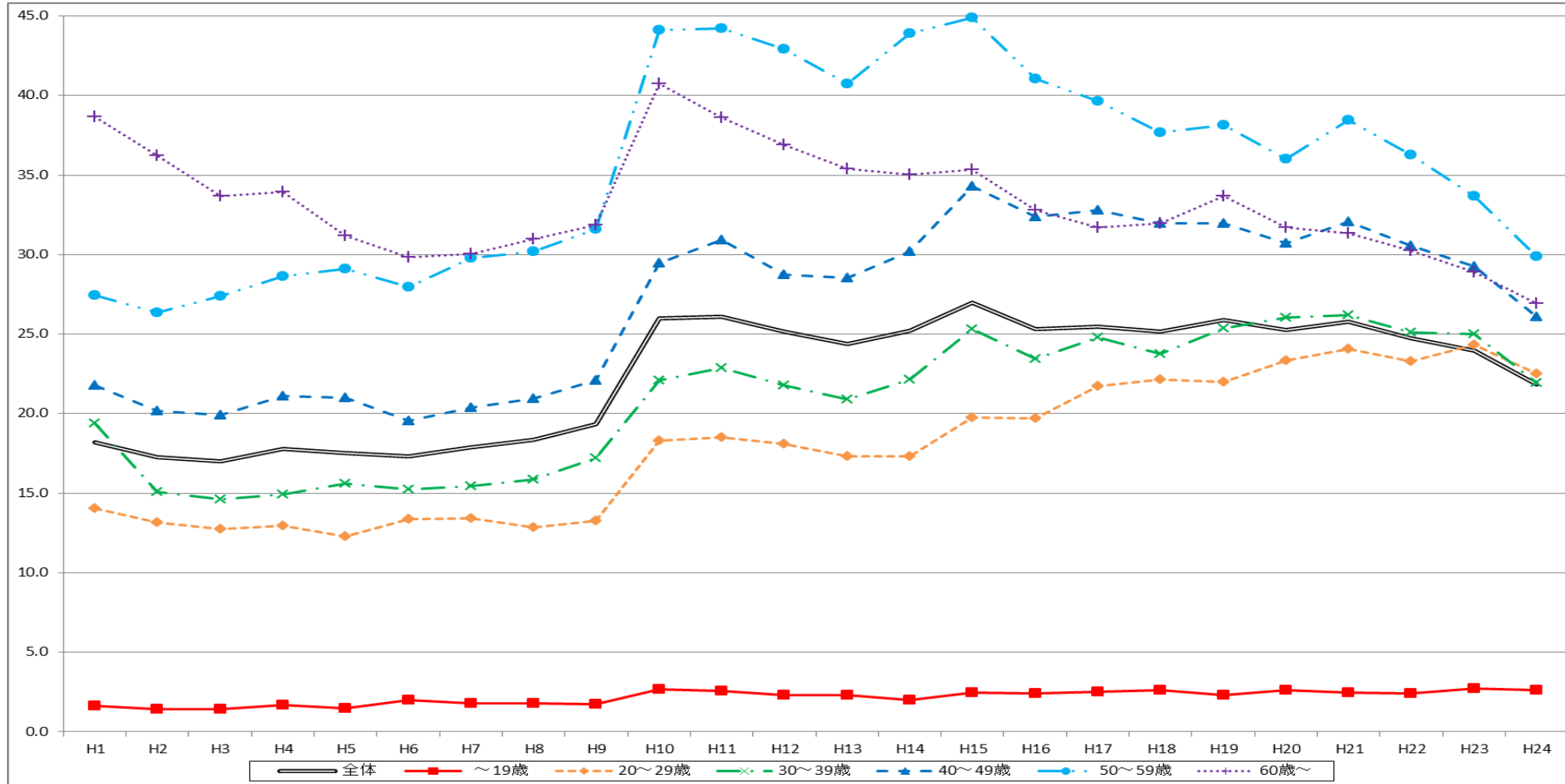


資料: 警察庁自殺統計原票データ及び総務省「人口推計」より内閣府作成

年齢階級別自殺死亡率の年次推移

○60歳以上に続き、50歳代において急増前の9年時点の数値を初めて下回った。

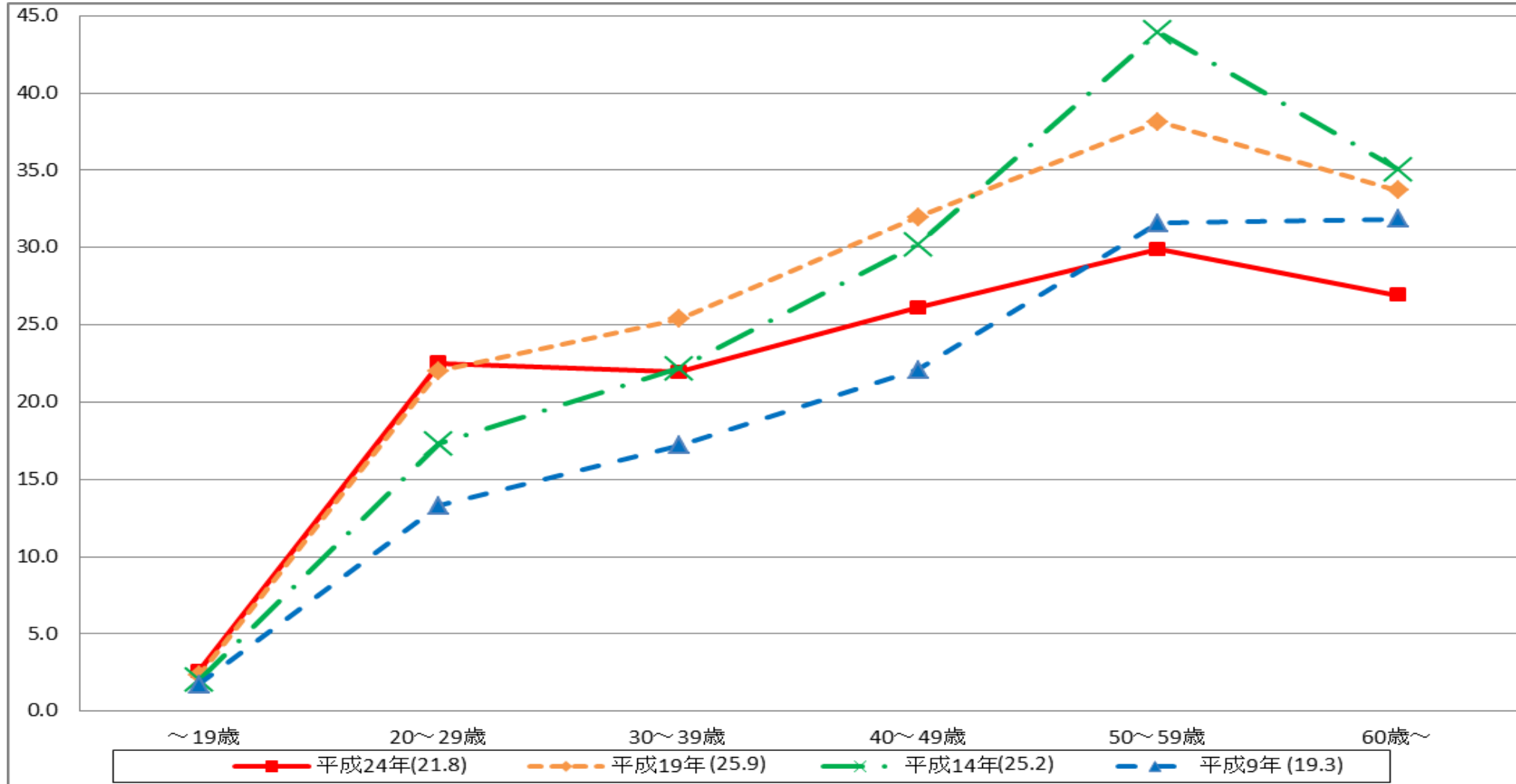
○全ての年齢階級において前年から減少しており、特に20歳代は減少に転じた。



資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データ)及び総務省「人口推計」より内閣府作成

年齢階級別自殺死亡率の推移(5年ごと)

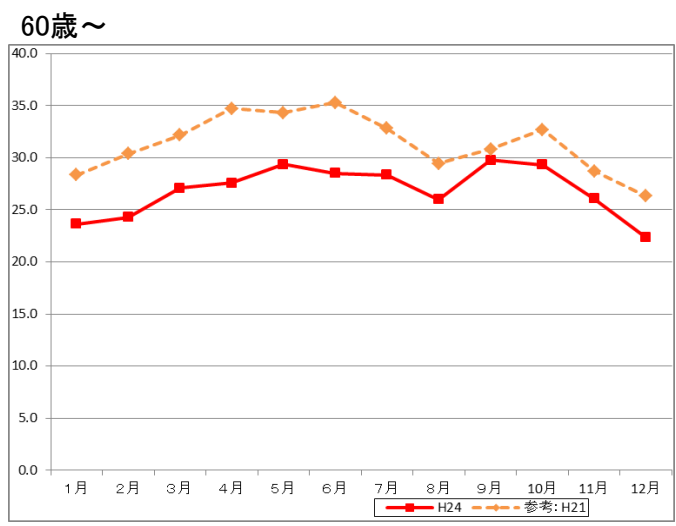
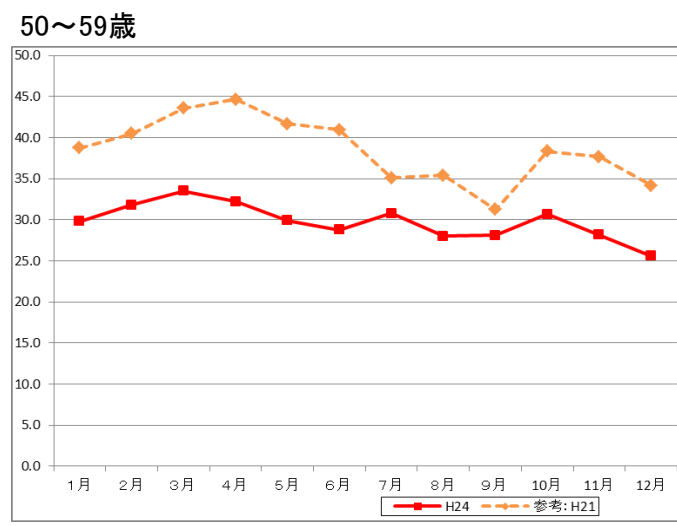
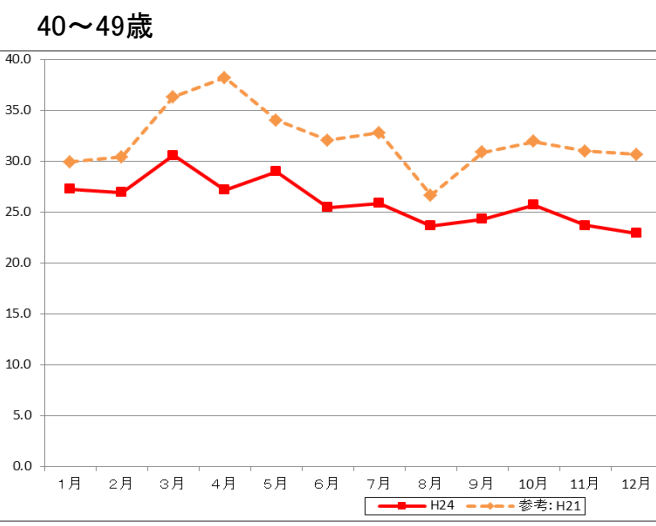
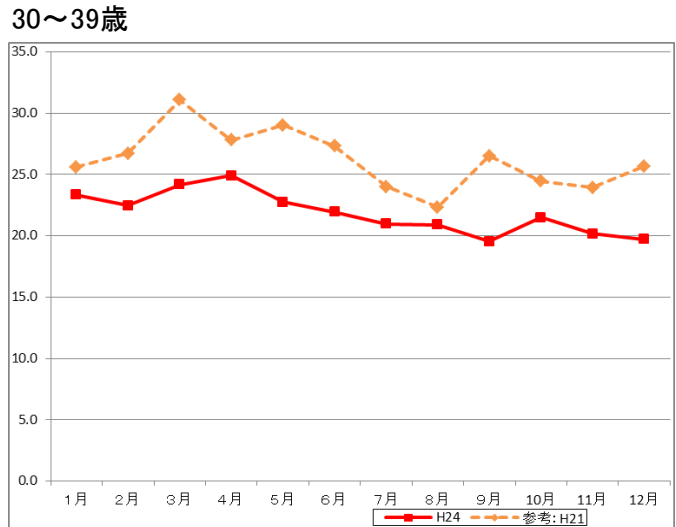
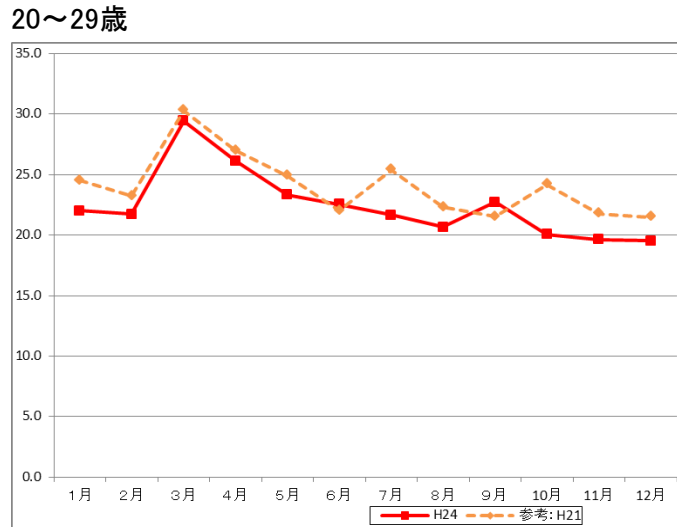
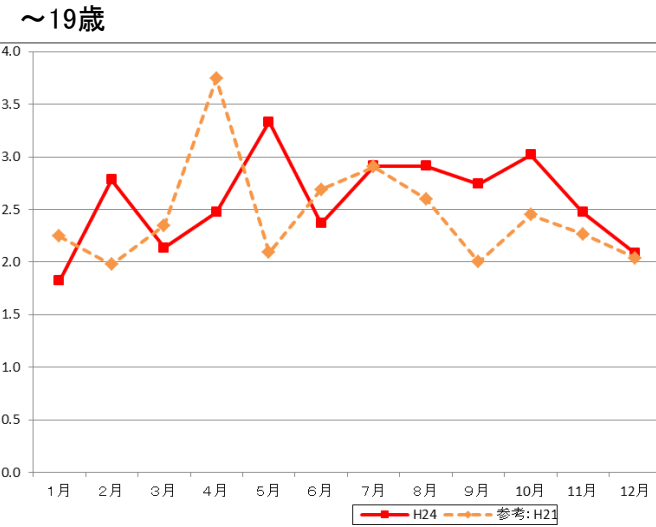
○50歳代が最も高いものの、他の年齢階級との差は縮小している。



資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データ)及び総務省「人口推計」より内閣府作成

平成24年における年齢階級別月別の自殺死亡率 (年率換算)

○19歳以下を除く全ての年齢階級において、21年時点の推移パターンと似ている。



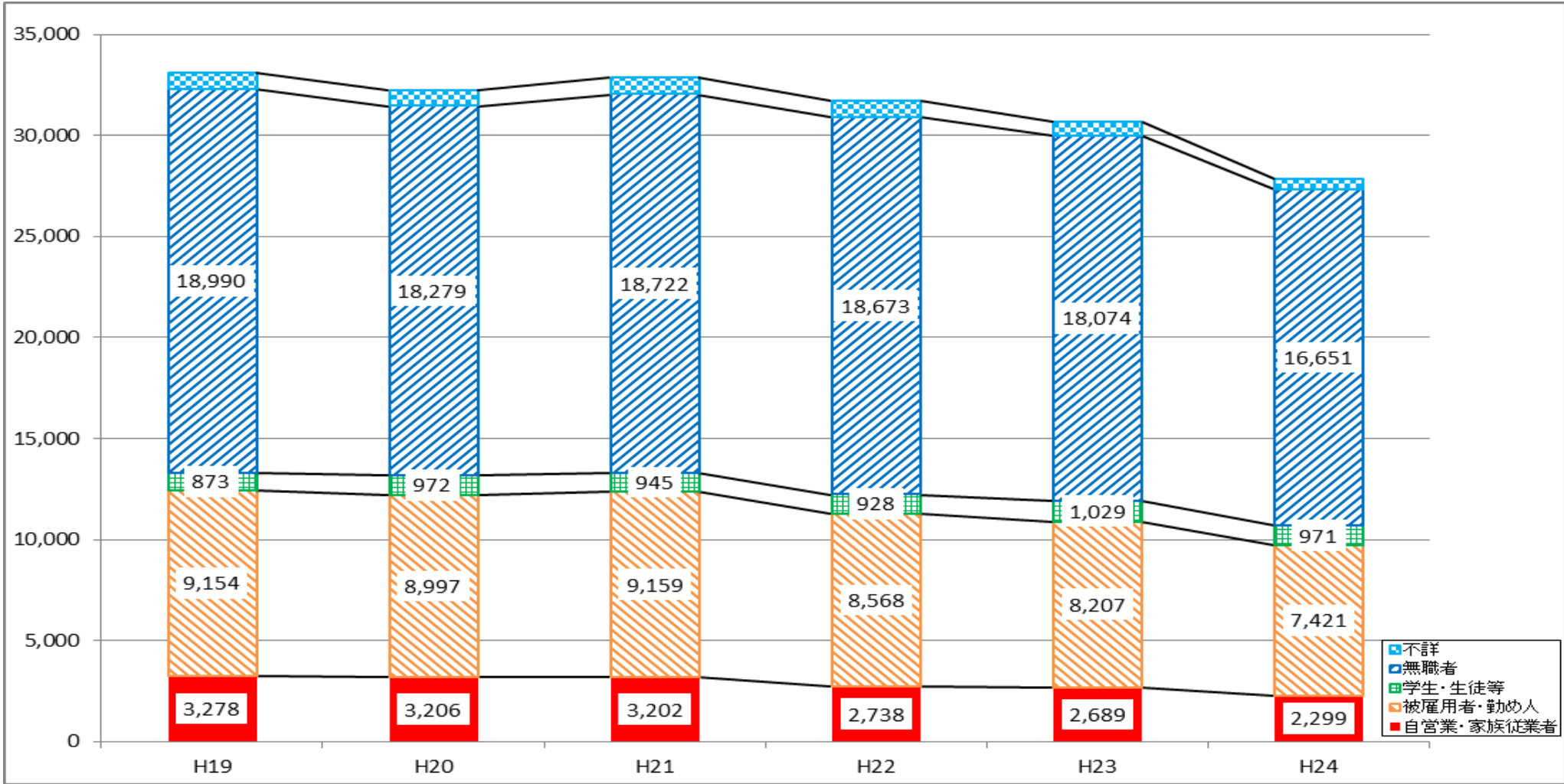
資料: 警察庁自殺統計原票データ及び総務省「人口推計」より内閣府作成

職業別自殺者数の年次推移

○全ての職業において前年から減少した。

○学生・生徒等も減少したものの、依然として20年時点と同じ水準にある。

(単位:人)



資料:内閣府・警察庁「平成23年中における自殺の状況」(平成24年については警察庁自殺統計原票データより内閣府作成)